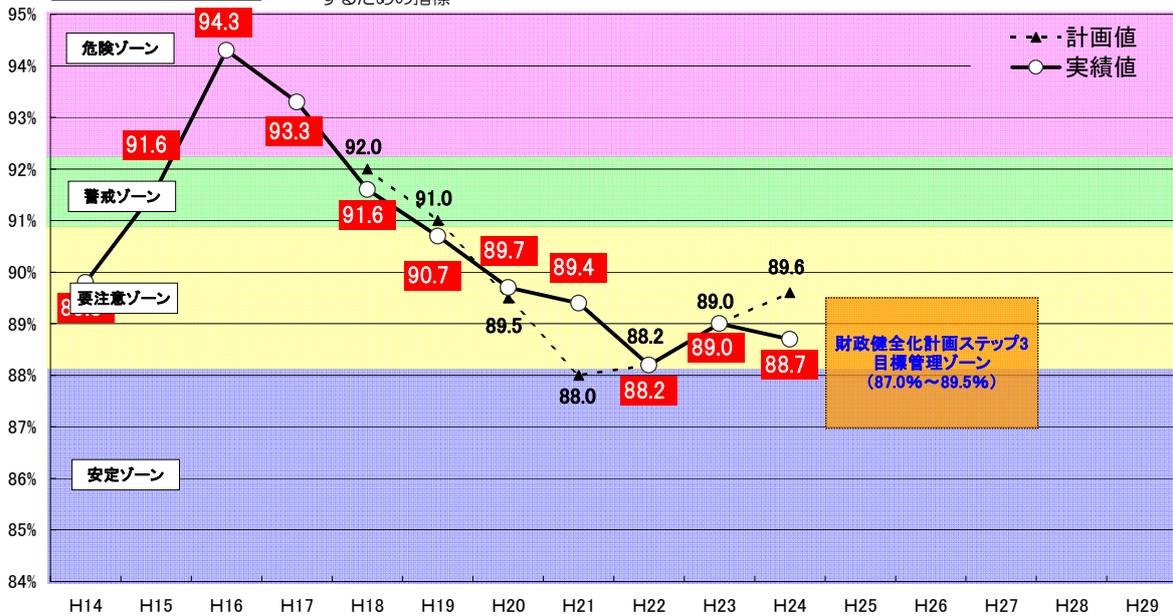
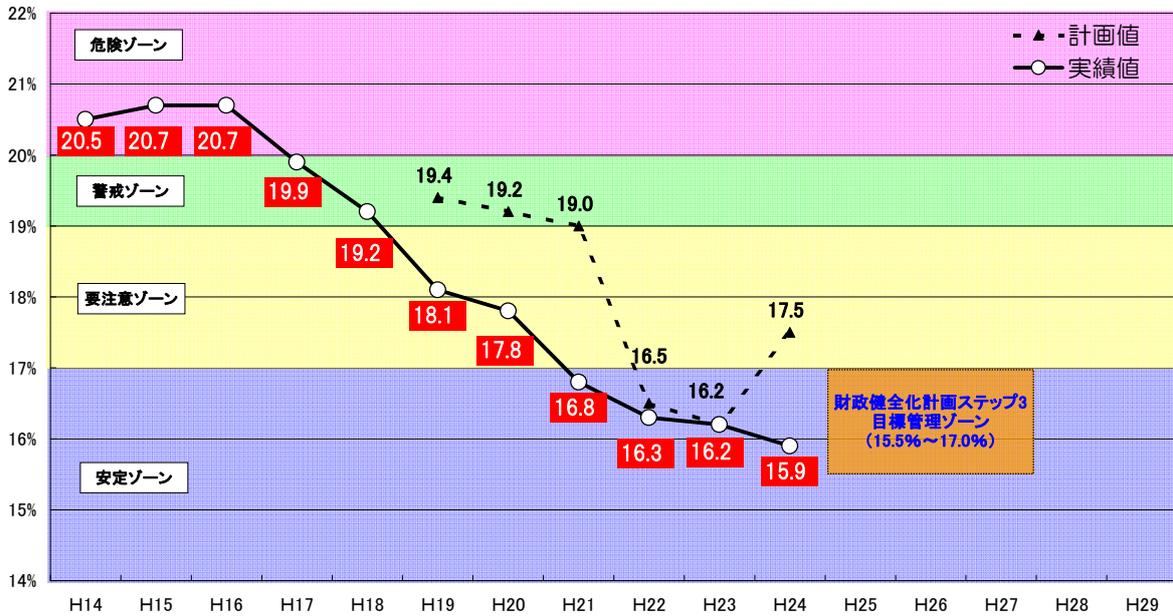


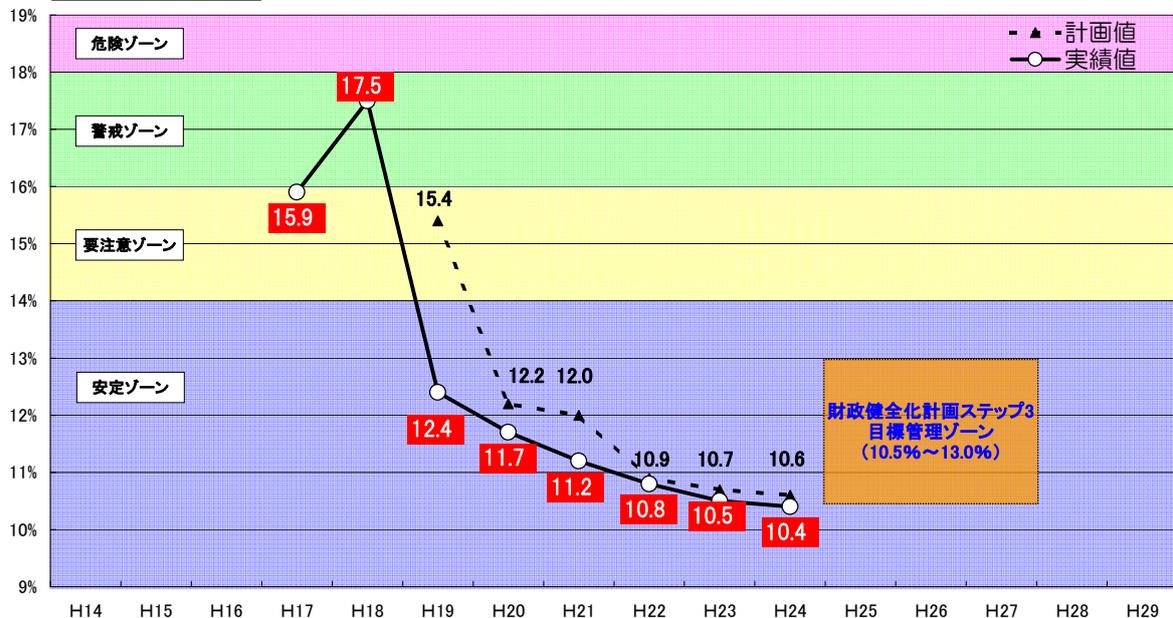
経常収支比率 経常的経費(人件費・扶助費・公債費等)のために、地方税・地方交付税・地方譲与税を中心とする経常一般財源収入がどの程度充当されるかをみることにより、当該団体の財政構造の弾力性を判断するための指標



公債費比率 公債費に充てられる一般財源の額の標準財政規模に占める割合を表す比率であり、財政構造の弾力性を判断する指標



実質公債費比率 一般会計等が負担する公債費及び公債費に準じた経費の標準財政規模を基本とした額に対する比率であり、公債費による財政負担の程度を示す指標



財政健全化比率及び資金不足比率

(平成24年度決算による比率及び金額)

財政健全化比率	苦小牧市指標	早期健全化基準	苦小牧市決算額 (分子の額)	苦小牧市の分母の額	早期健全化基準の分子の金額
1 実質赤字比率 $\frac{\text{一般会計等の赤字}}{\text{標準財政規模}}$	—	11.50%	一般会計等の赤字 無し	標準財政規模 約386.1億円	一般会計等の赤字 約44.4億円
2 連結実質赤字比率 $\frac{\text{全会計の連結赤字}}{\text{標準財政規模}}$	—	16.50%	全14会計の連結赤字 無し	標準財政規模 約386.1億円	全14会計の連結赤字 約63.7億円
3 実質公債費比率 $\frac{\text{地方債元利償還金など}}{\text{概ね標準財政規模}}$	10.4%	25.0%	交付税措置額を除いた市全体の 地方債元利償還金などの 3カ年平均 約33.6億円	概ね標準財政規模の 3カ年平均 約322.8億円	交付税措置額を除いた市全体の 地方債元利償還金などの 3カ年平均 約80.7億円
4 将来負担比率 $\frac{\text{市全体の将来負担総額}}{\text{概ね標準財政規模}}$	99.4%	350.0%	最終的に市の負担が生じる 市全体の将来負担額 約322.3億円	概ね標準財政規模 約324.2億円	最終的に市の負担が生じる 市全体の将来負担額 約1,134.7億円

5 資金不足比率 $\frac{\text{資金不足額}}{\text{概ね営業収益の額}}$	苦小牧市指標	経営健全化基準	苦小牧市資金不足額	苦小牧市該当会計の概ね営業収益の額	経営健全化基準の資金不足額
水道事業会計	—	20.0%	資金不足額は無し	約27.4億円	約5.5億円
下水道事業会計	—		資金不足額は無し	約37.0億円	約7.4億円
市立病院事業会計	—		資金不足額は無し	約83.7億円	約16.7億円
土地造成事業会計	—		資金不足額は無し	約159.1億円	約31.8億円
公設地方卸売市場事業会計	—		資金不足額は無し	約1.2億円	約0.2億円